

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

### 【事故概要について】

|                 |                                                                 |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------|
| 1. 事故・ヒヤリハットの別  | 事故                                                              |
| 2. 体験した事例の名称    | 仮眠していた救急隊員が夜間出場時に負傷した事案                                         |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | 救急隊員が仮眠中、出場指令を受け出場しようとした際に高さ約30cmの畳から降りたところ、右足首外側靱帯断裂の負傷を負ったもの。 |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | 無理な体勢のまま仮眠を行っていたため、右下肢に血流が十分に通っておらず、右下肢の感覚がなかったが出場を優先したため。      |

### 【体験した事例の直接的原因について】

|                  |                              |
|------------------|------------------------------|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | 行動の意志決定に問題があった。(大丈夫だろうと思った。) |
|------------------|------------------------------|

### 【体験した事例について】

|                                  |                   |
|----------------------------------|-------------------|
| 1. 発生日時                          | 令和3年12月29日 午前2時頃  |
| 2. 発生した当時の天候                     | 曇り                |
| 3. 発生した活動現場                      | 屋内: 仮眠室           |
| 4. 体験した事例の種類                     | 回答者が、自分自身で負傷した。   |
| 5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)  | 重傷の怪我             |
| 6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)     | 転倒、その他: 右足首外側靱帯断裂 |
| 7. 事例体験時の活動                      | 救急出動準備            |
| 8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか         | その他: 出場予告指令後      |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 | 初めて体験した           |

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



|                   |                                                         |
|-------------------|---------------------------------------------------------|
| ○当事者A             | 年齢[25]歳、勤続年数[2]年、現場経験年数[2]年、階級[消防士]<br>同様の活動[頻繁]、任務[隊員] |
| ○当事者B             | 年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ]年、階級[ ]<br>同様の活動[ ], 任務[ ]     |
| ○当事者C             | 年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ]年、階級[ ]<br>同様の活動[ ], 任務[ ]     |
| ○その他(当事者が4人以上の場合) |                                                         |

11. 事例発生時の経過。



|      | 誰が(何が) | なにをした                | その他・備考など |
|------|--------|----------------------|----------|
| 経過1  | 当事者A   | 夜間受付終了後、仮眠につく        |          |
| 経過2  | 当事者A   | 救急指令により、出場しようとした際に負傷 |          |
| 経過3  |        |                      |          |
| 経過4  |        |                      |          |
| 経過5  |        |                      |          |
| 経過6  |        |                      |          |
| 経過7  |        |                      |          |
| 経過8  |        |                      |          |
| 経過9  |        |                      |          |
| 経過10 |        |                      |          |
| 経過11 |        |                      |          |
| 経過12 |        |                      |          |

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険事象の対応方法を知らなかった 周囲の視界が確保できていなかった 足元の安全が確保できていなかった

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

|                                       |     |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | はい  |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。         | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。              | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。       | はい  |
| ・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。             | はい  |

c. 経験・知識が不足していた。

|                            |     |
|----------------------------|-----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。     | いいえ |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | はい  |
| ・活動に対する経験が不足していた。          | いいえ |

d. 心身の不調があった。

|           |     |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

|                     |     |
|---------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。   | いいえ |
| ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | いいえ |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。  | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。       | いいえ |
| ・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。      | いいえ |
| ・暑かった(寒かった)。     | いいえ |
| ・野次馬が多かった。       | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・足元が躓いたり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・足元の強度が不足していた。   | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)           | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。                    | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。) | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

|                |     |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | いいえ |
| ・隊員が不足していた。    | いいえ |

○その他

l. その他の理由があった。

|                                               |
|-----------------------------------------------|
| 代わりの救急隊に出場を依頼する環境化になかった(他の隊員が仮眠している場所が遠かったため) |
|-----------------------------------------------|

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

焦りが出た際は、周囲に人がいなくても、大声で呼びかける行動をとれるように意識を変えた。(個人)  
普段から若手職員がお願いできるよう職場環境の改善を行った。(署所)

○装備・資機材の対策について

変更なし

○活動環境の対策について

変更なし

○指揮・情報伝達の対策について

変更なし

# 図示

